

知的財産推進計画2026：技術で勝ってビジネスで勝つための国家戦略の全貌

マクロ環境と「知財パラダイムシフト」

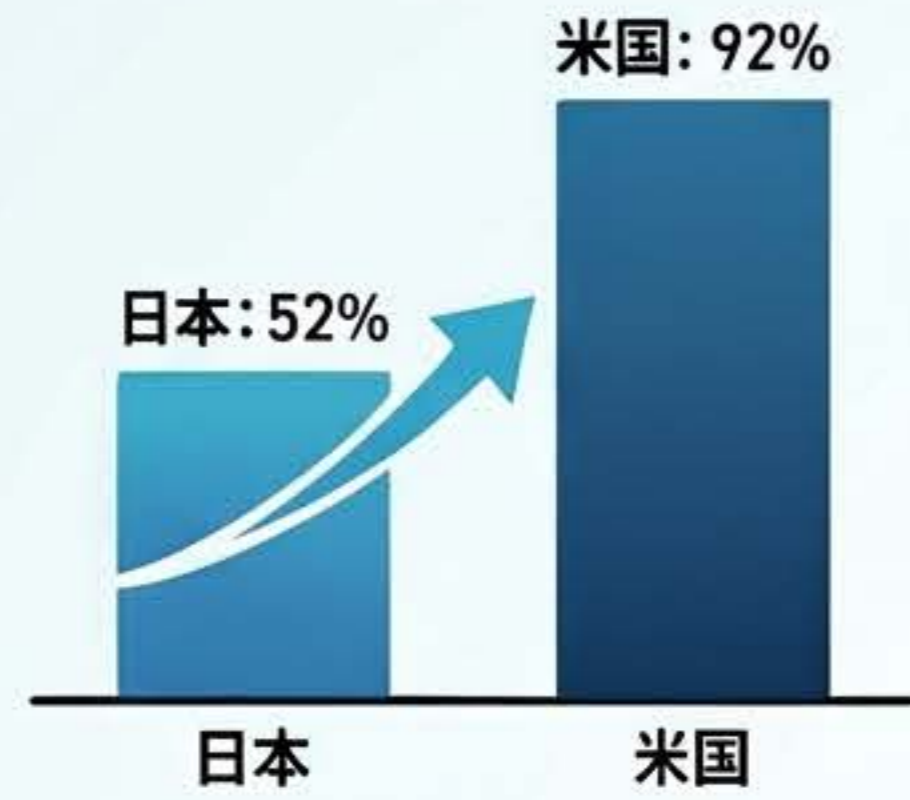
64位

日本の知財リテラシーは世界64位
アジア太平洋地域14か国中
で最下位という危機的状況
WIPO Pulse 2025によると、日本の知的財産
に対する経済的価値の認識は極めて低く、
これが競争のボトルネックとなっています。



無形資産割合の推移 (日本 vs 米国)
日本は52%まで急上昇するも、
米国の92%には遠く及ばず
コーポレートガバナンス改革で競争優位を
確保する必要がありますが、PDR1倍割れ査定に向けた
さらなる無形資産投資が必要です。

無形資産割合の推移 (日本 vs 米国)



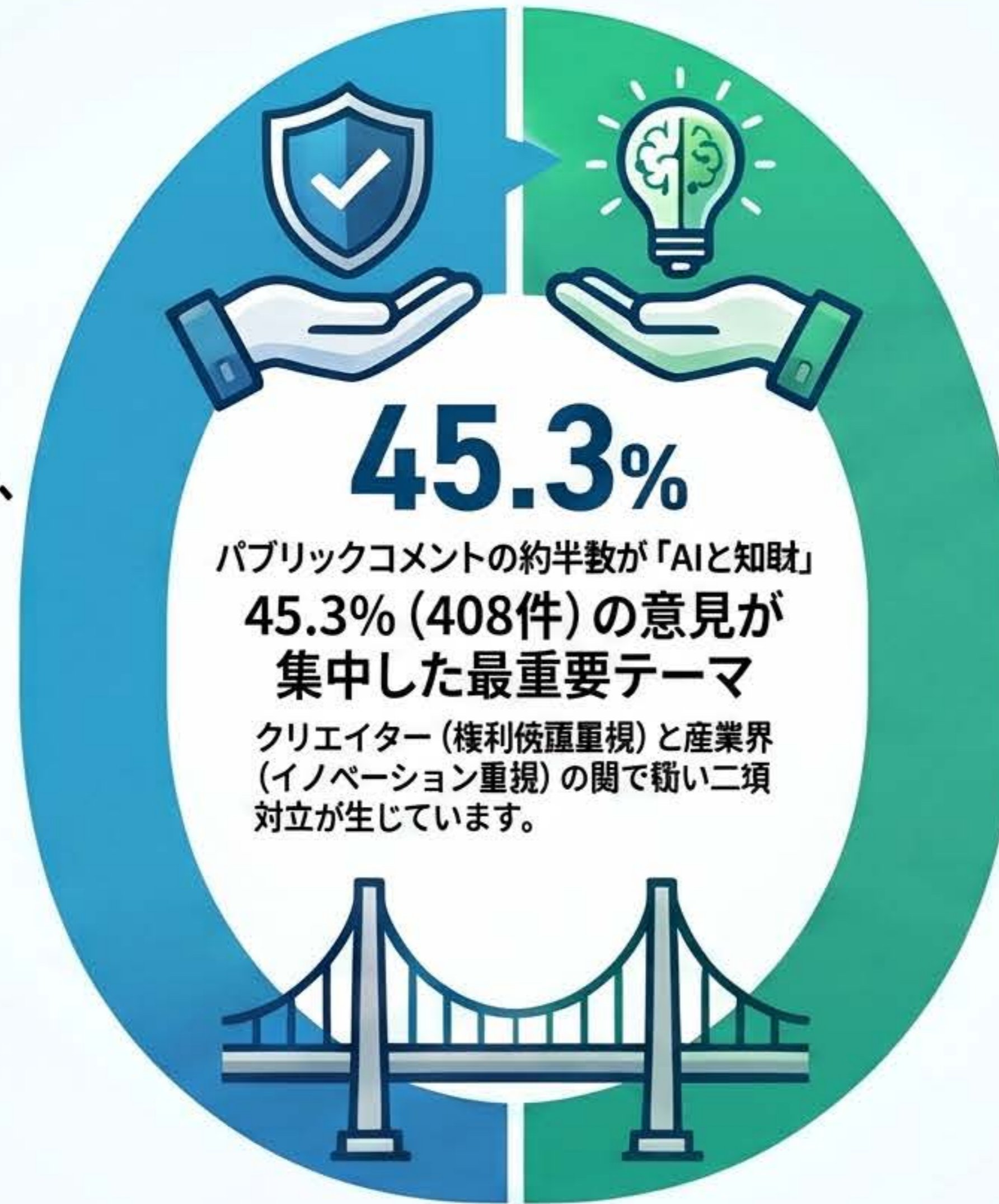
無形資産割合の推移 (日本 vs 米国)
日本は52%まで急上昇するも、
米国の92%には遠く及ばず
コーポレートガバナンス改革で競争優位的
にありますが、PDR1倍割れ真正に向けた
さらなる無形資産投資が必要です。



政策の重心が「保護」から「価値創出」へ
「技術で勝ってビジネス
で負ける」
構造を打破する

知財を単なるコストではなく、中長期的な
価値創出のための「優良規算」と位置づけ、
市場の正当な評価を引き出します。

生成AIと知財： 対立から共生へ



「ソフトロー」による高水準な調停
プリンシプル・コード
(自主規範) の導入

硬直的な法規制 (ハードロー) を避け、
技術進歩に合わせた柔軟なルール形成と、
出力段階での権利侵害対策を強化します。

コンテンツ産業の 「稼ぐ力」最大化



海外市場20兆円という巨大なKPI
石油化学に匹敵する
日本の「基幹産業」へ
2024年の6.1兆円から、2033年までに
3倍以上の市場規模拡大を目指します。



被害額10.4兆円は
正規海外市場の1.7倍
オンライン海賊版と偽グッズの被害が正規市場
を侵襲しており、「侵害した音勝ら」を許さない
仕組みが必要です。



司法インフラの抜本的強化
「代理・集団訴訟制度」の検討開始
個人のクリエイターや中小企業でも、巨大プラ
ットフォームや海外の侵害者に立ち向かえる
仕組みを構築します。

経済安全保障と 国際標準化



「標準競争力 (振興)」の軌設
縦割りを打破する
司令塔機能の構築

官民投資ロードマップに「国際標準化」を
ビルトインし、授産の社会実装を強力に
リードします。



17の戦略分野でのIPランドスケープ
AI・半導体・量子等の
「勝ち筋」を特定

研究開発の初期段階から知財情報を分析し、
位国の特許権を回避しながら競争優位性を
確保します。